

平成 20 年度 NBRP-情報-運営委員会 議事概要

開催日時: 2008 年 9 月 29 日(月) 14:00~16:00

開催場所: 情報・システム研究機構本部 会議室

参加委員: 荒木 正健 川口 正代司 小林 敬典 城石 俊彦(欠席) 菅原 秀明
鈴木 健一郎 ◎田畑 哲之 長村 吉晃(欠席) 成瀬 清 仁田坂 英二 深海 薫
松沢 哲郎(代理: 落合知美) 三上 襄(欠席) 水澤 博 山崎 由紀子 (五十音順 ◎
委員長)

オブザーバー: 文部科学省ライフサイエンス課 竹内 佑介

ナショナルバイオリソースプロジェクト事務局 吉原 剛

【報告事項】

1. 業務報告について

・ 情報センター 報告者: 山崎委員

従来から行ってきた「情報の網羅的収集」「各リソースのデータベース整備」「利用者への効果的な情報提供」に加えて、本年度は各リソース機関による自律的なリソース情報管理を促進した。その一環としてデータベース研究会を主催し、リソース中核機関 20 機関からの出席があった。その他、広報活動として遺伝学会、動物学会で事務局が主体となってポスター展示等を行った。

・ 大型類人猿情報ネットワーク(GAIN) 報告者: 落合氏(松沢委員代理)

第一期から、国内で大型類人猿を飼育する施設への訪問を行ってきたが、今年 3 月にすべての施設への訪問が完了した。GAINの活動に協力してもらえる施設が 9 割に上り、訪問によって得た情報をホームページで公開している。また、他大学・地方飼育施設との協力体制を深めた。

・ 地球規模生物多様性情報機構(GBIF) 報告者: 菅原委員

遺伝研では、共同研究機関である東京大学が収集・評価したデータをGBIFの標準フォーマットに整備して公開を行っている。本年度はGBIF 日本ノードのホームページを改訂するとともに国際GBIF チュートリアル和訳を行い順次掲載している。また、国立科学博物館では日本全国の博物館のネットワークを構築するとともに、松浦先生が国際GBIFの副議長として活動している。

・ その他 報告者: 田畑委員長

NBRP 事業の情報に関することを全体的に討議する場として第一回 NBRP 情報ワー

キンググループを開催し、情報公開の仕方に関するルール作りの必要性等について議論した。データの知財についての問題は、実費徴収・知財ワーキンググループで議論をお願いすることとした。

2. 業務計画について

【報告事項】

(1) 業務報告について

・ 情報センター 報告者: 山崎委員

従来から行ってきた「情報の網羅的収集」「各リソースのデータベース整備」「利用者への効果的な情報提供」に加えて、本年度は各リソース機関による自律的なリソース情報管理を促進した。その一環としてデータベース研究会を主催し、リソース中核機関 20 機関からの出席があった。その他、広報活動として遺伝学会、動物学会で事務局が主体となってポスター展示等を行った。

・ 大型類人猿情報ネットワーク(GAIN) 報告者: 落合氏(松沢委員代理)

第一期から、国内で大型類人猿を飼育する施設への訪問を行ってきたが、今年 3 月にすべての施設への訪問が完了した。GAINの活動に協力してもらえる施設が 9 割に上り、訪問によって得た情報をホームページで公開している。また、他大学・地方飼育施設との協力体制を深めた。

・ 地球規模生物多様性情報機構(GBIF) 報告者: 菅原委員

遺伝研では、共同研究機関である東京大学が収集・評価したデータをGBIFの標準フォーマットに整備して公開を行っている。本年度はGBIF 日本ノードのホームページを改訂するとともに国際GBIF チュートリアル の和訳を行い順次掲載している。また、国立科学博物館では日本全国の博物館のネットワークを構築するとともに、松浦先生が国際GBIF の副議長として活動している。

・ その他報告者: 田畑委員長

NBRP 事業の情報に関することを全体的に討議する場として第一回 NBRP 情報ワーキンググループを開催し、情報公開の仕方に関するルール作りの必要性等について議論した。データの知財についての問題は、実費徴収・知財ワーキンググループで議論をお願いすることとした。

(2) 業務計画について

・ **情報センター報告者**: 山崎委員

報告事項のさらなる推進とあわせて、チュートリアル、マニュアルの整備などの整備を進める。第2回データベース研究会、リソース別研究会を開催する予定。また、線虫については成果論文登録システムとリソースデータベースとの相互リンクを実現予定。広報活動として分子生物学会でのポスター展示を行う予定。

・ **大型類人猿情報ネットワーク(GAIN)報告者**: 落合氏(松沢委員代理)

飼育施設訪問の際に収集した情報のとりまとめに力を入れていきたい。GAIN スタッフの異動等もあり、他大学・飼育施設との協力体制づくりにも重点をおいていく予定。

・ **地球規模生物多様性情報機構(GBIF)報告者**: 菅原委員

今年度に入って GBIF 標準形式(DarwinCore)に準拠してデータを公開するための「データ検証システム」を構築したが、DarwinCore のバージョンが上がったので対応を検討していく。東京大学で整備した国内標本・観測データとあわせて NBRP 参加機関由来データについても国際公開を予定。日本微生物学会のカatalogデータについて GBIF から公開することで準備中。

(3) その他

データの利用について、NBRP 情報プラットフォーム側からの利用ポリシーを明文化する必要性についての議論がなされたが、リソース機関やデータの種類等が多様であるため、ワーキンググループでの議題として取り上げることです承された。